

山形地区保護司会「会報やまがた」寄稿

一人との関りと再犯防止

山形地区保護司会の皆様におかれましては、犯罪や非行のない安全・安心な明るい社会づくりのために、犯罪予防及び更生保護に向けての活動や青少年の健全育成活動等に多大なるご尽力を賜り、衷心より感謝申し上げます。また、近年は、新型コロナウイルス感染症の影響でご不便をおかけすることも多かった中、街頭指導等の諸活動に対し、快くお力をお貸しくございましたこと、厚く御礼を申し上げます。

さて、子どもたちを含め私たちの生活環境は、少子化・核家族化の進行とデジタル社会への進展に加え、コロナ化も相まって人と人との繋がりが益々希薄になってきているように思われます。犯罪や非行のない社会を実現していくためには、社会的な孤立・孤独を防ぐことが重要な取り組みの一つと考えます。苦しい時や困った時に支え合い助け合う環境が、弱っている人々を救い、更生に向けて歩んでいる人を支えてくれるものになると思っております。そのためにも、人と人との結びつきがこれまで以上に大切なものであり、人との関わり合いを大切にしながら活動にご尽力いただいている保護司会の存在は誠に重要なものであり、なくてはならないものと確信しております。

昨今の国内の犯罪状況に目を向けると、件数は減少しているものの、一方で再犯者の割合は年々上昇しており、山形県全体においても検挙者の約半数が再犯者である状況にあります。こうした中、令和4年3月山形市では、再犯防止に関する各施策・取り組みをまとめた「山形市再犯防止推進計画」を策定しました。この計画の基本的な考え方は、まさに「人と人との関わり」の力を再犯防止に繋げようというものであり、地域住民のご理解やご協力、関係機関の積極的な関わりを通し、対象者に寄り添いながら支え、支援していくことが重要であることを示しております。そういった意味において、山形市での再犯防止を更に進めていくためには、対象となる方々に寄り添った活動をされている貴会の皆様との連携は必要不可欠なものであります。

今後とも、地域住民の皆様の安全で安心な明るい社会と青少年の明るい未来の実現に向けて、山形地区保護司会様のより一層のご活躍をご期待申し上げますとともに、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年12月22日 山形市教育委員会教育長 金沢 智也